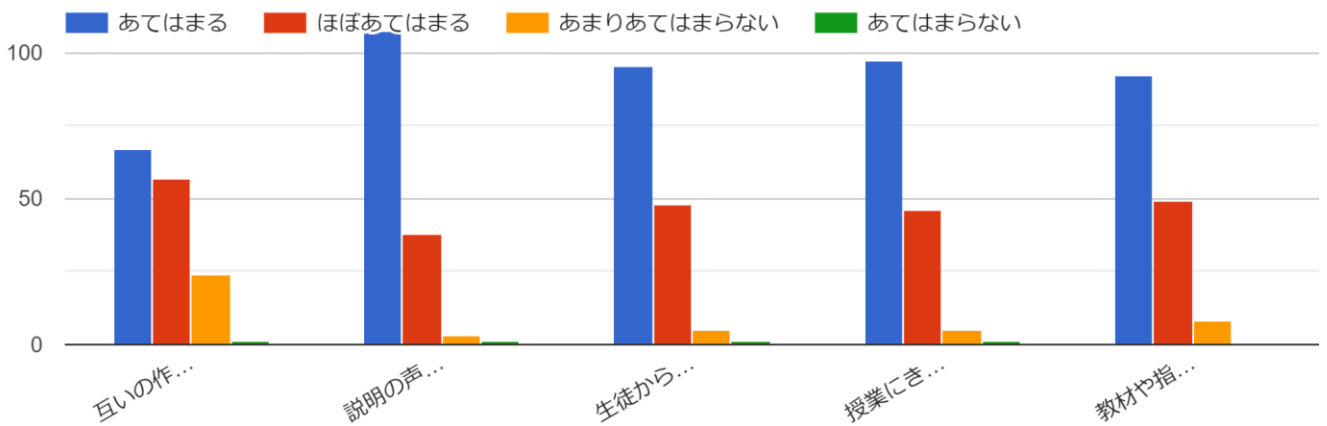


教科名： 技術	重点目標：教科を身近に感じ、関心をもって取り組ませる
---------	----------------------------

学習指導に関する現状と課題（1学期 生徒による授業評価アンケートより）

1年 技術の授業について



- ・互いの作品に刺激を受けたり、学び合いや振り返りの時間が設けられている。
- ・説明の声の大きさは適切である。
- ・生徒からの質問にいてねいに答えている。
- ・授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている。
- ・教材や指導方法が工夫されている。

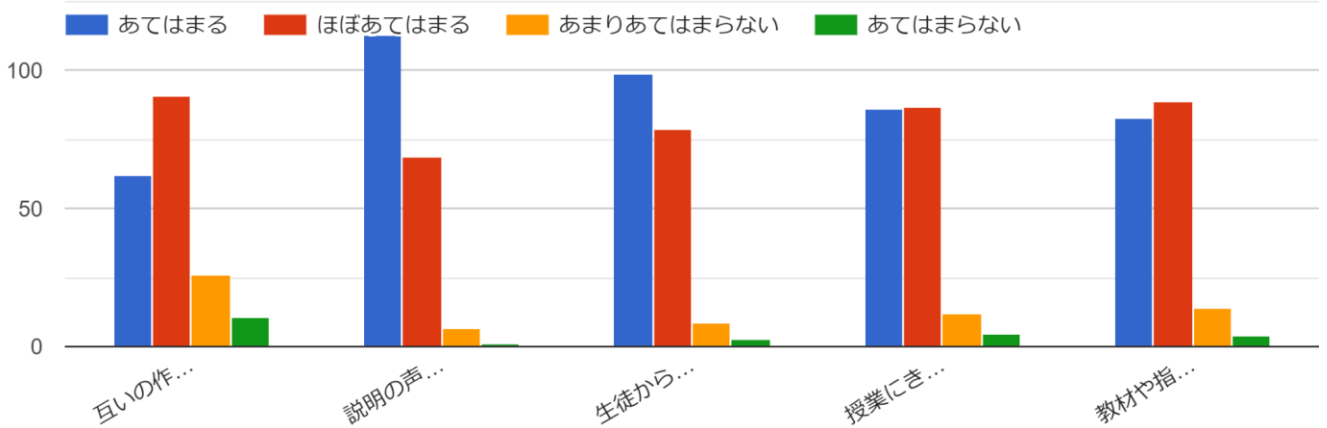
分析

- ① 1学期は実技がなく、互いの作品に刺激を受けることがなかった。実技時間を多く確保するために、学び合いの時間も多くとることができていない。振り返りは授業の最後の時間か宿題にしており、その宿題を忘れた生徒も少なからずいたため、今回の評価で最も低い結果が出たのではないかと感じている。2学期は実技に入り、互いの作品に刺激を受ける機会や学び合いの機会が増えると思うので、この評価は少し改善するのではないかと感じている。
- ② 声の大きさは「あてはまらない」がなく、概ね肯定的である。喉の調子が悪く大きな声が出ないときが何度かあったため、それもあって「あまりあてはまらない」という評価があったのかもしれない。2学期は体調に気を配るようにしたい。
- ③ そもそも生徒からの質問があまり多くない。授業中や前後に来た質問には答えているが、休み時間に職員室まで来て質問されることがほとんどない。質問も少ないので、ひとつひとつ丁寧に答えるようにしているつもりだが、2学期はより一層丁寧に答えるようにしていきたい。
- ④ 授業の手順がはっきりしており、書くときは書く、話を聞くときは話を聞くになっているので、「あてはまらない」が低くなっているのだと思う。2学期は実技が多くなるので、この授業に取り組む雰囲気を壊さないようにしていきたい。
- ⑤ 教材は副教材を利用し、デジタル教材を活用して行っている。授業手順もいつも同じなので、工夫がないと感じる生徒も多いのかもしれない。2学期からは実技も入るので、授業の工夫を感じてもらえる機会が増えることに期待している。

教科名： 技術	重点目標：教科を身近に感じ、関心をもって取り組ませる
---------	----------------------------

学習指導に関する現状と課題（1学期 生徒による授業評価アンケートより）

2年 技術の授業について



- ・互いの作品に刺激を受けたり、学び合いや振り返りの時間が設けられている。
- ・説明の声の大きさは適切である。
- ・生徒からの質問にていねいに答えている。
- ・授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている。
- ・教材や指導方法が工夫されている。

分析

- ① 1学期は実技がなく、互いの作品に刺激を受けることがなかった。学び合いの時間は多くのクラスで、時数の関係上、2学期に行う予定にしている。振り返りは授業の最後の時間か宿題にしており、その宿題を忘れた生徒がいたため、今回の評価で最も低い結果が出たのではないかと感じている。2学期は実技に入り、互いの作品に刺激を受ける機会や学び合いの機会が増えると思うので、この評価は少し改善するのではないかと感じている。
- ② 他の評価と比べると一番評価が高い。低い原因を考えるとすれば、喉の調子が悪く大きな声が出ないときが何度かあったため、それもあって一部低い評価になったのかもしれない。2学期は体調に気を配るようにしたい。
- ③ そもそも生徒からの質問があまり多くない。授業中や前後に来た質問には授業に関係あるなしに関わらず答えているが、休み時間に職員室まで来て質問されることがほとんどない。質問には、ひとつひとつ丁寧に答えるようにしているつもりだが、2学期はより一層丁寧に答えるようにしていきたい。
- ④ 3年生と同じ授業スタイルで、授業の手順がはっきりしており、書くときは書く、話を聞くときは話を聞くになっているが、2年生だけ評価が低い理由が思い当たらない。2学期の授業をする中で評価が低い理由を探していけたらと思っている。
- ⑤ 教材は副教材を利用し、デジタル教材を活用して行っている。授業手順もいつも同じなので、工夫がないと感じる生徒も多いのかもしれない。2学期からは実技も行うので、授業の工夫を感じてもらえる機会が増えることに期待している。

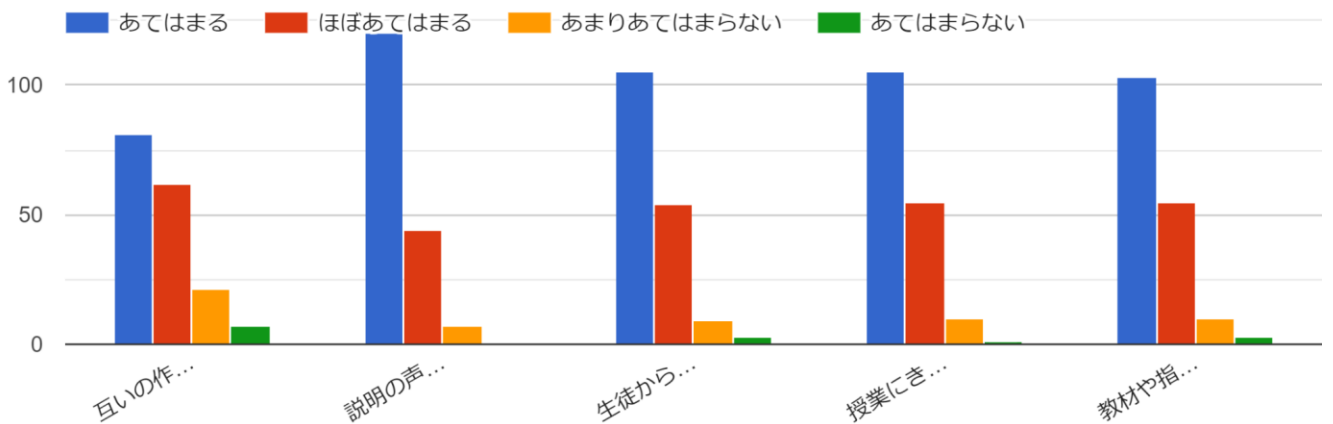
<まとめ>

全体として、2年生の評価が低い傾向にある気がする。生徒との信頼関係を築き、より良い授業ができるようにしていかなければならない。

教科名： 技術	重点目標：教科を身近に感じ、関心をもって取り組ませる
---------	----------------------------

学習指導に関する現状と課題（1学期 生徒による授業評価アンケートより）

3年 技術の授業について



- ・互いの作品に刺激を受けたり、学び合いや振り返りの時間が設けられている。
- ・説明の声の大きさは適切である。
- ・生徒からの質問にていねいに答えている。
- ・授業にきちんと取り組む雰囲気をつくっている。
- ・教材や指導方法が工夫されている。

分析

- ① 1学期は一部実技があったものの、すぐに持ち帰らせたりしたことや、3年生の授業時数の少なさと学習内容の多さから、互いの作品に刺激を受ける時間を作ることができなかった。また、学び合いの時間も多くとることができていない。振り返りは授業の最後の時間か宿題にしており、その宿題を忘れた生徒もいたため、今回の評価で最も低い結果が出たのではないかと感じている。
- ② 2学期初めに互いの作品に刺激を受ける時間を1時間作ることができるので、その活動で評価改善につながるのではないかと考えている。また、2学期の終わりから3学期には実技があるので、班活動をさせながら、互いの作品に刺激を受ける時間や学び合いの時間を作ることができればこの評価は改善に向かうのではないかと感じている。
- ③ 声の大きさは「あてはまる」が他の評価に比べ最大である。低い評価があるのは、喉の調子が悪く大きな声が出ないときが何度かあったため、それもあつての評価なのかもしれない。2学期は体調に気を配るようにしたい。
- ④ 授業中や前後に来た質問には答えているが、休み時間に職員室まで来て質問されることがあまりない。質問も少ないので、ひとつひとつ丁寧に答えるようにしているつもりだが、タイミングによっては対応できず、昼休みにもう一度来てもらっていたので、その部分が低評価につながっているのかもしれない。2学期はより一層丁寧に答えるようにしていきたい。
- ⑤ 授業の手順がはっきりしており、書くときは書く、話を聞くときは話を聞くになっているので、「あてはまらない」が低くなっているのだと思う。引き続き、この授業に取り組む雰囲気を壊さないようにしていきたい。

<まとめ>

教材は副教材を利用し、デジタル教材を活用して行っている。授業手順もいつも同じなので、工夫がないと感じる生徒も多いのかもしれない。多肉植物の育成に関しては去年の3年生と違うと喜んでいた生徒も多くいたと思ったが、まだまだ低い評価もあるので、気を引き締めて毎回の授業が興味深く楽しい授業だと思ってもらえる工夫をしていきたい。